

< 育成担当指導者 A 分散会 > 「リーダー会、リーダー活動のプロモーション」

< 1 日目 >

- ・東京、宮城、香川は体協 HP 内にリーダー会の紹介をしている。しかし、更新状況が悪く、リアルタイム性が欠けてる。
- ・大分ではリーダー会独自の HP を運営しているらしい。
- ・リーダー会独自の HP は基本は体協内に置くのが基本？

【HP はセキュリティ、個人情報の管理が問題】

- ・携帯電話で HP が見れるようにする。
- ・メーリングリストを利用

【その他のプロモーション】

- ・町報にスポーツ少年団の記事を載せている。
- ・運動会にリーダー会が参加する。(祭り等)
- ・母集団、認定員に PR する。



大会に出るためだけにスポーツ少年団に登録



大会に出るためだけに登録するのを予防する為に
認定員講習プログラムにリーダー & リーダー会のカリキュラムも盛り込む。

(リーダーが PR すると効果が出る?)

- ・学校長宛などに召喚状などの文面を送る。

【その他のメディアの活用】

- ・テレビ、新聞、雑誌など、メディアの利用
(1 度でも掲載されると効果が上がる?)

【PR の状況】

- ・ Jr リーダースクール参加者に手紙を送る。
- ・市町村リーダー会に県リーダー会が巡業を行う。
- ・スポーツフィスティブアルでリーダー会で 1 ブース設置し、ニュースポーツ、運動適性テ

ストなどを行う。HP の利用を活用し、新しいニーズが生まれている状況において、運営・管理の必要性を見いだしたい。

【まとめ】

- ・ 総じて、各県では意欲の違いがあるが IT の利用を考えている。今日において IT の利用は日常的になってきているが、利用するにあたり、数々の問題が上げられている。問題は次の通り。

HP の運営費

: HP は無慮でも UP できるが、プロバイダーの広告が入る。有料にするとまとまった予算が必要になる。

セキュリティ・個人情報の管理

: 今日叫ばれている、個人情報の管理は、大きな問題となっている。誰が責任を持って管理するのか明確にする必要がある。

技術的・管理

: HP を利用するにあたり、多少の知識が必要になる。技術者が 1 人などの時は、1 人が抜けてしまうと運営ができなくなる。

- ・ 以上を踏まえ、IT を利用するに踏み切れずにいる県が多数あるが、IT を運用しはじめている県もあるので、それに続けるよう問題を解決していきたい。

< 2 日目 >

【解決策】

- ・日本スポーツ少年団ができること。
- ・県市区町村スポーツ少年団ができること。
- ・IT を使った効果的な PR 方法
(HP を作成し、リーダー会活動、並びにリーダーについて広く、一般に向けてアピールし理解度を深めてもらう。)
- ・指導者のリーダーに対する理解度を深めてもらう為に、単位団活動内でリーダーが活動する場をもうける。
(団活動を競技だけに特化せずに、競技・交流の両立)
- ・認定員講習会で、リーダーやリーダー会について理解してもらうプログラムの追加。
- ・日本スポーツ少年団からリーダーの必要性、リーダー会とはどんなものか、アピールしてもらう必要がある。
- ・リーダーの育成とは、リーダー会の育成ではなく指導者の育成である。
上記より、指導者仲間を増やすという目的を理解してもらう。
- ・スポーツ少年団出身の著名人を活用した PR も必要ではないか。
- ・リーダー会内へ理解を深める為の PR。
広く一般へ存在を知ってもらう為の PR の両方が必要である。